

2025 年 日中韓都市間文化交流事業 実施報告

1 日中韓都市間交流事業について

2014 年から始まった「東アジア文化都市」事業の初代開催都市として、横浜市と中国の泉州市、韓国の光州広域市は、多くの文化芸術イベントを通じて 1 年間活発に交流を行いました。同年 11 月には、3 都市で「東アジア文化都市 友好協力都市協定」を締結。2015 年以降も文化芸術を通じた交流を継続していくことを確認し合いました。これに基づき、中国泉州市、韓国光州広域市とアーティストや芸術団体等の相互派遣を通じた都市間交流事業を毎年実施しています。
(2020 年～2021 年はコロナ禍のためオンライン交流)

東アジア文化都市

日中韓文化大臣会合での合意に基づき、日本・中国・韓国の 3 か国において、文化芸術による発展を目指す都市を選定し、その都市において、現代の芸術文化や伝統文化、また多彩な生活文化に関連する様々な文化芸術イベント等を実施するものです。これにより、東アジア域内の相互理解・連帯感の形成を促進するとともに、東アジアの多彩な文化の国際発信力の強化を目指しています。

【東アジア文化都市一覧】

	日本	中国	韓国
H26(2014)	横浜市	泉州市	光州(カンジュ)広域市
H27(2015)	新潟市	青島(チンタオ)市	清州(チョンジュ)市
H28(2016)	奈良市	寧波(ニンポー)市	済州(チェジュ)特別自治道
H29(2017)	京都市	長沙市	大邱(テグ)広域市
H30(2018)	金沢市	ハルビン市	釜山(プサン)広域市
H31(2019)	豊島区	西安(シーアン)市	仁川(インチョン)広域市
R2(2020)	北九州市	揚州(ヤンチョウ)市	順天(スンチョン)市
R3(2021)	北九州市	紹興市、敦煌(ドゥンファン)市	順天(スンチョン)市
R4(2022)	大分県	温州市・済南市	慶州(キョンジュ)市
R5(2023)	静岡県	成都市・梅州市	全州市(チョンジュ)市
R6(2024)	石川県(能登半島地震により中止)	大連市・濰坊(イボウ)市	金海(キメ)市
R7(2025)	鎌倉市	マカオ特別区・湖州市	安城(アンソン)市
R8(2026)	松本市	未発表	安東(アンドン)市

交差する、人・アート・文化



2 2025 年の実施内容について

【韓国光州広域市招へい事業】「第 22 回光州思い出の忠壮祭り」

光州広域市のイベント「第 22 回光州思い出の忠壮祭り」への招へいを受け、芸術団を派遣し、公演を行いました。

ア 派遣団体

白昼夢

2010 年に結成された劇団であり、昔話や妖怪譚をモチーフに、現代日本の様相を語る寓話的な物語と、ダイナミズムと熱量を用いた「祝祭」にも似た上演が特徴です。

(横浜市創造界隈拠点「急な坂スタジオ」によるコーディネート)

イ 派遣期間

令和7年10月15日（水）～10月18日（土）

ウ 滞在中の主な活動

「第22回光州思い出の忠壮祭り」での公演

開催日：令和7年10月16日（木）

エ 公演の様子

白昼夢のステージは紙芝居をベースとした朗読形式で構成され、感情豊かな語りによって物語が展開されました。韓国では紙芝居文化の認知度が低いため、観客の理解が懸念されましたが、現地司会者による事前説明や、アーティスト自身による紙芝居文化の紹介が行われたことで、観客の多くが内容を理解し、興味深く鑑賞している様子が見受けられました。

言語の違いに配慮し、日本語の紙芝居と韓国語の説明版を同時にスクリーンに投影する工夫がなされ、視覚的にも分かりやすい構成となっていました。公演の終盤にはダンスパフォーマンスが披露され、観客も一体となって踊るなど、会場全体が盛り上がる充実した約20分間のステージとなりました。

公演の様子

